

支援広げる

うた「えと」空の安全を守る「学習会

JAL不当解雇撤回争闘団
松山市在住 林 恵美

灼熱地獄のような長い2017年の夏がやっと去った。静かに降る秋雨が火照りを鎮めてくれる。

まだ夏の暑さが抜けきらない9月9日、松山市内で初のJAL争議団合唱団フェニックス・ミニコンサート(第一部)と、こちらは3度目となる山口宏弥団長の学習会(第一部)が開催された。同じ施設内で国労の仲間が歌声コンペを開催していたにも関わらず60名の方が参加して下さった。四国中央市からわざわざ来て下さった日航労組〇



えひめ一般から贈られたフラッグを前に林恵美さんと大池ひとみさん(9月9日)

Bの大先輩や、開催にご尽力いただいた支援者の皆様に感謝するばかりである。労働歌には、仕事への誇りはもちろん理不尽な解雇や差別に負けず仲間と支え合い頑張る心情を歌い上げるものが多く、当事者のみならず聞く側の心にも直接響く。うたごえ運動が戦後間もない頃から長く続いているのが頷ける。全国で支援のあるところフェニックスの歌声を響かせたい。

第一部では、山口団長が「民間航空と憲法9条」日本の空は米軍機天国」をテーマに講演。はならない。公共交通機関の使命は安全と公共性を守ることであり、民間航空は平和産業だ。平和憲法を守ることなくして「空の安全」も守れない。あらゆる分野で闘おう、を訴えた。165名の解雇は昨年9月23日にされた最高裁決定により、憲法28条違反、労組法7条違反、ILO87号条約違反であることが明確になった。JAL経営陣は問題を先送りせず解決する決断を今こそすべきである。国民の足である公共交通機関に解雇争議はあって

JAL愛媛原告を支える会



ニュース



発行：JAL不当解雇とたたかう愛媛原告を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内
松山市三番町8-10-2 TEL 089-945-4526

闘い続ける素晴らしい姿

元周桑病院分限免職撤回裁判原告 佐溝直子

私も
応援します

私たちが分限免職撤回を求め提訴して1年ほどたった頃、支援共闘の集会に参加いただいたのが林さんとの出会でした。

不当に解雇され闘っている方々やいわゆるブラック企業がこれほど多いとは思いませんでした。大企業であるJALでさえも、こんな不当解雇やマトニティハラスメントを行うのかと本当に驚かされてしまいました。

その後、様々な集会などで支援をお願いする機会をいただき、共に闘う林さんと一緒になることができました。慣れない訴えの前に緊張していると、笑顔で優しく声をかけていただきとても心強く思えたことをおぼえています。

私達の裁判も地裁で全く予想だにしない判決が出され、不安にとらわれたときも変わらぬ支援をいただきました。最高裁でも不当な決定が下され、全く納得できず意気消沈している私達に「声をあげ闘い続けた姿が素晴らしかった」と声をかけていただきました。まさに「闘い続ける素晴らしい姿」、それこそJALの争議団の皆様の姿だと思います。その姿に私達も何度勇気づけていただいたか……。きっと闘いの真中にいる人々の支えとなっているのではないのでしょうか？

JAL解雇撤回闘争の早期の解決と、心身ともに平安を取り戻せるよう応援をしております。

9.9 うたごえと学習のつどい 9.10 国鉄のうたごえ祭典 in えひめ

”連帯の力で早期の争議解決を”



9.9 うたごえと学習のつどい (市民会館小ホール)



9.10 快晴の城山公園で

”あの空へ帰ろう”

国鉄のうたごえ祭典 in えひめ
フェニックス合唱団のステージ



松山城を背に勝利を誓いあう争議団 (9月10日)



国鉄のうたごえの仲間とJAL争議団